

流量観測データを用いた河道閉塞（天然ダム形成）覚知に関する

データの整理・分析の手引き（案）

目次

1. 共通事項	1
1.1 目的	1
1.2 対象流域と対象流量観測箇所	2
1.3 概要	3
1.3.1 本手引き（案）の想定	3
1.3.2 手法の基本的な考え方	7
1.3.3 分析フロー	10
2. 資料収集	12
3. 流量データ整理分析	13
3.1 整理・分析対象データの抽出	13
3.2 通常時（非河道閉塞形成時）の流量減少に関するデータ整理	14
3.3 通常時（非河道閉塞形成時）の流量増加に関するデータ整理	17
3.4 監視基準値の候補の設定	20
4. 監視可能区間の設定	21
4.1 限界距離の算出	21
4.2 限界面積の算出	28
4.2.1 流量定常または減水時における限界面積の算出	28
4.2.2 増水時における限界面積の算出	30
4.3 監視可能区間の設定	32
4.3.1 流量定常または減水時の監視可能区間の設定	32
4.3.2 増水時の監視可能区間の設定	37
5. 監視基準の設定	39
6. 検討結果の利活用	40
【参考文献】	41
【添付資料 1 用語集】	42
【添付資料 2 流量データにおける注意すべきデータの例】	44